

科目ナンバリング		U-LAS05 20011 LJ39							
授業科目名 <英訳>	人文地理学各論II (村落) Topics in Human Geography II(Rural Settlement)				担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 小島 泰雄			
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	地域・文化(各論)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・前期		曜時限	金2		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
<p>テーマ：農村への人文地理学的アプローチ。 人文地理学は農村の何を明らかにしようとしているのだろうか。大きく変わってゆく農村をどのように対象にすえ、考察してきたのかについて、具体的な事例を通して考えてゆく。</p>									
【到達目標】									
<p>農村地理学の概要を理解する。 農村が直面している課題を解決するための思考力を習得する。</p>									
【授業計画と内容】									
<p>以下のような課題について授業を行う。具体的な事例、とくに中国と日本の農村を主要なフィールドとして、農村地理学を概観してゆく。授業回数は15回、最終回はフィードバック。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．農村性：農村とは何か？ 2．生活空間：農民の活動から考える農村とは？ 3．集落形態：なぜ集まって住むのだろうか？ 4．土地利用：土地利用に表れた農村変化とは？ 5．農業の構造変化：生産主義農業による農村変化とは？ 6．人口変動：農村の人口変動における都市の役割とは？ 7．労働移動：高度経済成長における日中の違いとは？ 8．近郊：近郊に表れた中国農村の特徴とは？ 9．農村工業：農村開発の中国モデルとは？ 10．農村に住む：田園回帰が示す都市農村関係の変化とは？ 11．農村を消費する：農村の商品化とは？ 12．グローバル化：グローバル化は農村をどう変えるのか？ 13．持続可能性：農村の20世紀を相対化するとは？ 14．内発的発展：住民の参加による農村開発とは？ 									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・観点】									
<p>主に期末試験による(8割)が、授業への参加度を加味する(2割)。 授業への参加度は、授業終了時のミニツツペーパー(5%)と授業後2週間以内に提出する課題レポート(15%)の提出によって測る。</p>									
----- 人文地理学各論II(村落)(2)へ続く -----									

人文地理学各論II (村落) (2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

授業ごとに提示される課題レポートに取り組むことで、自ら関心あるテーマについて発展的な理解を増進する。なお課題レポートの標準的な提出回数は2回とする。

[その他(オフィスアワー等)]

履修希望者が教室の収容可能人数を超えた場合には、履修制限を行うこととなります。とくに履修を希望する学生には「教員推薦」を実施する予定です。

[主要授業科目(学部・学科名)]

総合人間学部